



報道関係各位

2004年10月25日
ミニストップ株式会社
(証券コード 9946)

業界初！ミニストップのお弁当容器は、 食べ終わるとゴミではなく再生利用可能な資源になります

ミニストップ株式会社（本社：東京都千代田区 社長：横尾 博）は、環境問題の中でもコンビニエンスストアが大きく直面する“ゴミ問題”について積極的に取り組むべく活動の一環として、限りある資源を有効に再利用できる「エコ弁当容器」をコンビニエンスストア業界初の試みとして2004年10月26日より関西地区114店舗（2004年9月末現在）で新発売される弁当2品から実験（期間：約6ヶ月）導入いたしてまいります。

「エコ弁当容器」使用の商品

お好み焼き風 豚 丼	498円	（10月26日発売）
牛 丼	398円	（11月 2日発売）

「エコ弁当容器」とは

- ・再生できる素材を使ったプラスチック容器で、40%以上の再生プラスチックを含有しており、耐久性があり、電子レンジへもかけることができ、リサイクル表示が記載されています。
- ・重金属などの有害物質、残留性有機化学物質をいっさい含んでいません。
- ・YPシートと呼ばれる3種類の素材（PP材、PS材、PP特殊フィルム）を使った4層のシートで構成され、フィルム材などの貼り付けなどに使う接着剤を一切使わず熱融着で加工するといった配慮のもとに作られています。
- ・容器に使われている素材は、厚生労働省の定める食品添加物などの規格基準の第3のDの合成樹脂製の器具または容器包装に準じた試験に合格したものを使っています。

ミニストップ株式会社は、グリーン調達（環境配慮型商品を購入し加工・生産すること）の文房具や無漂白オリジナルタオル、リユース・リサイクルの使いきりカメラなど環境配慮商品を中心に積極的な販売拡大をいたしており、今後も環境配慮には先駆けた提案や商品開発を推進してまいります。ミニストップ環境社会報告書2004におきましても弊社の環境に対する取組みが詳細に記載されております。ホームページでもご覧いただけます。

ミニストップホームページ <http://www.ministop.co.jp/>

ミニストップでは「健康・安心・安全」をテーマにこれからも商品開発や店舗開発を積極的に進め、「環境配慮企業」として独自性を発揮してまいります。

この資料に関するお問い合わせ先は
ミニストップ株式会社 IR・広報 迎 眞紀・佐藤 慶太
043-212-6477



木を植えています
私たちのイオンです